

見えてきます。皆さんにもこんな経験はありませんか・・・。

それでも不思議なことに、「色」がわって耳に届くので「色」はありません。

「音がやく音色 心をつなぐ」というテーマで、私が、たまたま通りかかった街角で音楽の演奏をされていたことがあります。知っている曲だったのと鍵盤ハーモニカでの演奏ということもあり思わず立ち止まって聞いてしまいました。

早いもので、今年も最後の月となりました。今年度も「子どもの学びと育ち亀小祭」の当日までには、学年全体で一つのものを作り上げるということを目指して取り組みを進めている様子が見られました。

学校長 中舎 ゆう子



また、「共鳴」という言葉があります。互いに響き合う、という意味ですが、違う視点から考えると、そばにいてだけで相手を響かせてあげられる存在にもなるのではないかなと思います。私たちは友達や仲間がいて共鳴できます。仲間がいて相手もかがやく、仲間がいて自分たちの音色が描けます。発表会前には、学年で発表する歌を口ずさんだり、時には「校長先生、聞いてや」と歌ってくれる子どもも中にはいました。

どの学年も発表内容が工夫され、一人ではできないことも、みんなとならできる!!という、子ども達、一人ひとりのパワーをいっぱいもらいました。子どもたちにとっても大きく成長する機会になったのではないのでしょうか。

二学期は、行事がたくさんありましたが、保護者の皆様の家庭でのサポー



令和 7 年 12 月号
編集発行人
京都府亀岡市内丸町 15
亀岡市立亀岡小学校
中舎 ゆう子
印刷所 (株)天 声 社

12月行事予定表

日	曜	学 校 行 事
1	月	児童委員会VI⑥
2	火	
3	水	全校A 5校時(14:35下校) かめのことろクIV⑤
4	木	フッ化物洗口(2学期最終) PTA研修会
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	
10	水	
11	木	全校短5(13:40下校)
12	金	全校短5(13:40下校) 町別児童会⑤
13	土	
14	日	
15	月	全校短5(13:40下校) 個別懇談1日目
16	火	全校短5(13:40下校) 個別懇談2日目
17	水	全校短5(13:40下校) 個別懇談3日目
18	木	全校短5(13:40下校) 個別懇談4日目
19	金	全校短5(13:40下校) 個別懇談予備日
20	土	
21	日	
22	月	給食終了 全校4校時(13:10下校)
23	火	短縮4校時(12:00下校) 大掃除④
24	水	二学期終業式 特別3校時(11:30下校)
25	木	
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	

図書ボランティア募集!

亀岡小学校では、図書ボランティアを募集しています。
興味のある方は、
学校へのお問い合わせを
電話(22-0155)
FAX(22-0281)

トにより成り立ってきたと感謝しております。本当にありがとうございます。

二学期も残すところ後少しとなりましたが、最後まで教職員一同、子ども達と共に頑張ってくださいますので、引き続きご支援くださいますようお願い申し上げます。

1月の主な行事

- 7日(木) 3学期始業式 短縮4校時(12:00下校)
- 8日(金) 短縮4校時(12:00下校) 市学力調査②(国語)6年のみ
- 9日(土) 全校4校時(13:10下校) 給食開始 市学力調査②(国語)1~5年 発育測定(低) 6年生ミュージカル鑑賞(長岡京市文化会館)
- 13日(火) 1・2年4校時授業(13:10下校) 3~6年5校時授業(14:15下校) 市学力調査②(算数)
- 14日(水) 1・2年4校時授業(13:10下校) 3~6年通常授業 発育測定(低)
- 15日(木) 1・2年5校時授業(14:15下校) 発育測定(高)
- 19日(月) 児童委員会⑥
- 21日(水) かめのことろク⑤
- 22日(木) フッ化物洗口(3学期開始)
- 26日(月) クラブ⑥(3年生クラブ見学)
- 28日(水) 全校A 5校時(14:35下校)
- 29日(木) フッ化物洗口

のみんなの音が聞こえるので「今どこだっけ」ということになってしまいました。そこに慣れて本番に挑みたいと思います。

生活の中で特に成長していることは、「話を聴くこと」です。前までは、となりの人と話を話してしまつて先生の話を聞き逃してしまつていました。今ではそれもなくなりました。そんな自分に成長を感じています。

四年

亀小祭に向けてがんばっていることは三つあります。

一つ目は歌のビリーブです。ビリーブは地声を出さず、ていねいに美しく歌う曲だと思ひます。わたしはたまに大きい声を出そうと思ひ、よく地声が出てしまふことがあります。けれど、亀小祭に向けて「四年生さすがだな。」と思はれる最高のビリーブにしたいなと思ひています。

二つ目は、スパカリの曲です。スパカリは、とてもゆかいな曲でリコーダーや鉄琴など様々な楽器の音を合わせて演奏します。私の演奏するリコーダーは八回の休みがあります。初めは先生が八回数えてくれたけど、本番はだれも数えてくれません。だから自分たちで力を合わせて百パーセントでできた良いなと思ひます。

三つ目は群読です。群読は難しいところが一つあります。それは、「いまいまが過ぎていくこと」とのことです。理由は、最初は「いまいまが過ぎていく」といふことと読んでしまつていて、自分は大丈夫と油断していきたくて、先生のおかげで「いまいまが過ぎていくこと」と正しく言えるようになりました。わたしは今でも「先生ありがたう」といふ気持ちでセリフを言っています。一組のセリフも覚えなければなりません。理由は、自分が読むところの前部分も覚えておかなくと自分のセリフが遅れてしまふからです。

みんなの感動するような群読「生きる」にしたいと思ひています。スパカリはみんなの心を弾ませて合奏する。ビリーブは美しく、群読は感動、それらを届けられるように私は亀小祭に向けて練習していきなと思ひます。

ばくが亀小祭に向けて頑張っていることは三つあります。

一つ目は、スパカリの楽譜を覚えておくことです。理由は、亀小祭で楽譜をチラチラ見ているからつよくないし、見ている人の記憶に残らない演奏になってしまふからです。あんなにがんばつて練習したのに、かつつよくないところが頭に残つたら練習したことが見えている人に伝わらないので、音程も間違えないようにしたいです。

二つ目は、Believeを歌うとき、地声にならないことです。理由は、先生も「地声にならないように」と言っていたからです。地声で「アー」より、高い声で「アー」の方が良いからです。でも地声にならないようにばかり意識してしまつと、高い声でも小さくて何を言っているか分からなくなつてしまふので、そこが難しいところだと思ひます。

三つ目は移動するときの静かな音です。理由は、移動しても「ドンドン」「パンパン」と音が鳴つたらつよく悪いので、他の学年の見本になるくらいにつよく移動したいです。

環境学習をふりかえつて

五年

私は、原田さんの話を聞いて、知らなかったことをたくさん知りました。世界で、プラスチックをリサイクルされているのは、世界で9%ほどだそうです。2050年には、魚よりプラスチックの方が多くなるかも知れないことと、大阪湾だけでレジ袋300万枚もあつたことを聞いて、私は焦りました。魚はまだまだ食べられるように私は、プラスチックをあまり使わなかったり、ペットボトルじゃなくて、マイボトルを持つようにしようと思ひました。

私がびつくりしたことは、ミッドウエーにある島のアホウドリ保護地区があり、アホウドリの親鳥が子どもにエサを与える時、プラスチックを与えてしまつて死んでしまつアホウドリが多くなることを知つてとてもびつくりしました。

少しでもプラスチックゴミや、レジ袋を無くすために亀岡市では、亀岡レジ袋禁止が行われるようになりました。これは、日本初です。これを聞いて、亀岡市ってすごいと思ひました。

でも世界は当たり前のようです。世界では、レジ袋を禁止している国があるそうです。使用禁止を法律で定められているところもあります。法律を守らないと、罰金400万円、1600万円を払うか、それか、刑務所に4ヶ月入るそうです。

初めは、みんなに理解してもらえなかつたけどやってみて、経費削減、ゴミ削減にもなつてやつてよかったと言う人がたくさんいたと言っていました。

私は、原田さんの話を聞いて、これからはプラスチックゴミが減っていくようにマイバックやマイボトルを使つたり、ゴミ拾いをやつて世界を綺麗にしていくようにしようと思ひました。

五年

今日環境問題の海洋汚染の話聞いて自分たちにはどうすれば良いのだらうと思ひました。世界の海はマイクロプラスチックなどがたくさんあります。2050年には魚よりプラスチックが多くなると思ひました。他にもペットボトルの水を飲むとたくさんナノプラスチックが体内に入つて脳梗塞などの原因にもなつたりします。なので考えたことが、①ペットボトルではなくてマイボトルを持つてお出かけする。②友達などにゴミ拾い活動に参加する。③④飯屋さんなどにマイ箸やステンレスマイストローなどでゴミを増やさないようにする。

ゴミを無くすことはできないけれど、自分たちが工夫すれば少しでも減ると思ひました。

五年

僕は原田さんの話を聞いて日本から離れた場所にも日本のゴミがあるなど初めて知つたこと

がたくさんありました。その中でも特に驚いたことが二つあります。

一つ目は、プラスチックなどは動物や環境だけでなく、人間への被害があることもわかつています。プラスチックは病気になる原因にもなつていて、人や、魚の減少の原因にもなつており、海で毎年魚が取れる量が減つてきていることも初めて知りました。

二つ目は日本の川には約4000万本のペットボトルがあると聞いて驚愕しました。2050年には魚全体の体重よりもこみの全体の体重の方が重いことにもとても驚きました。このことを知り、気づいたことはこれだけのプラスチックの問題があるとは思ひもつかなかつたということです。これからの生活でもリサイクルできるものをしたり、無駄にゴミを増やさないことが大事だと改めて感じました。これからの生活でも今日学んだことを忘れずに生活していきたいです。

僕は今日、原田さんから日本や世界の環境のことを聞かせてもらつて分かつたことと、驚いたことがありました。

一つ目は、大正時代、99年前、113年前にプラスチックが開発されていたのが結構驚きました。理由は、大正時代は、今よりも文明が発達してないだらうし、プラスチックを開発する機械とかもないと思うからどうやって作つたのだらうと驚きました。

そこで調べてみて分かつたことは、「欧米で発明された新しい化学技術が日本に導入された」ということです。これをみてなるほどと思ひました。



けじゃなく中国とか他の国からもゴミが流れてきて、これだけの惨事になったんだなと思いました。

プラスチック汚染を今すぐどうにかすることはないけど、ちよつとでも進行を止めるために亀岡市とか京都市が率先して、プラスチックの袋を販売中止にしたり、一つ一つ市民に声を掛けをしたりして取り組んでいることはものすごくいい取り組みだなと思いました。

『六年生の長所と変化』

六年生になってから半年以上が経過しました。改めて、この学年の長所と変化を考えました。

六年

六年生の良いところは、話を聞くときはしっかりと相手の方向を向いて聞くところや、挨拶運動にも積極的に参加するところが良いところだと思いました。この半年の変化は、聞く姿勢が変わったように感じました。前までは相手の方に体を向けて話を聞く人が少なかったけど、今は声かけもしながら、みんなが相手の方向を向いて聞くことができています。

六年

一学期の最初はこんな心があったりする六年生ではなかったけど、組体表現や学校生活を送っていくうちに、クラスでそろえたいのではなく、学年でそろえたいと気づきました。良いところはみんなが一つのゴールがあるけど他にも細かいところにも気を向けているところが良いと思います。

六年

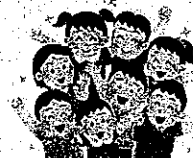
一度言われたことは一度で行動に示すことができるのが長所だなと思いました。この半年で変化したところは自分たちで気づいて声をかけたりして自分たちで行動しているところと、自分だけではなくクラスのことを思っているところと、変化しているところだと思いました。

六年

最高学年として、辛い思いもたくさんしてきて、でも必死な姿を見て、六年二組だったから一年間やっていた姿と自信をもつことができた。六年一組にもたくさん助けられていたところがあった、運動会もあってライバルだったけど、一組は行動が素早くてさすがだと思えることがあって、しっかりと取り入れようと思えました。また、学年で必死になる姿がとてまつこいと思えています。これからも低学年のお手本に、いや、学校のリーダーとして残りの半年間を全力でがんばりたいです。

六年

亀岡小学校の六年生の良いところは、話している人に対しての態度が良いのと、協力性だと思っています。この半年で、みんな確実に五年生の時よりも成長していると思います。だから、自分も六年生の一人なのでまだまだ成長して残り少しい学校生活を大事にしたいから良いなと思っています。



六年

クラス関係なく協力しているところがこの学年の長所です。一学期もできていたとは思いますが、二学期の組体表現から特に「心を揃える」ことが増えたように感じます。また、自分から動くことができることも長所です。あいさつ運動ではほとんどの人が参加できていた、学年の場でも、挙手をして自分の考えを伝えようとしている人が増えているので、長所でもあるし変化でもあると思います。

六年

一番最初の時から比べたら自分のことだけじゃなく、みんなのことをしっかりと考えるようになったのではないかなと思います。なぜかというと、少しみんなが遅れている人を見て放っておかず声をかけたり、背中から手を差し

のべたりしている人がたくさんいます。こういう、一人も見捨てない雰囲気があるところがこの学年の長所だと思います。

六年

半年間をふり返って、この学年の良いところは前向きなノリの良さだと思っています。授業中、男女関係なく交流ができたり、体育の体操の時も笑顔で見本についてきてくれたりするので「またやってみようかな。」と前向きな気持ちにさせてくれることがたくさんあります。

また、心が揃ってきていることも成長と変化だと感じます。荷物の整理やトイレのスリッパ下駄箱のくつなど、基本的なことにもみんなが目をつけてくれるようになってきました。

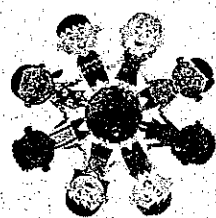
個性を認め、明るい亀小へ

人権教育部

十二月十日は「世界人権デー」です。一九四八年に国際連合で「世界人権宣言」が採択されたことを記念して定められました。日本では、毎年十二月四日から十日までを「人権週間」とし、人権を大切にする気持ちを育む活動が行われています。人権とは、一人ひとりが幸せに生きるために、生まれながらに持っている大切な権利のことです。

亀岡小学校でも、十二月二十五日から二十五日を入権週間とし、人権について改めて考える期間としています。

二学期の人権周間のスローガンは、「今まで知らなかった仲間のいいところを見つけ合おう」です。このスローガンは、児童会本部の子どもたちが、亀岡小学校をよりよくしていくためにはどうすればよいかを考えて決めました。友達の良いところ、目を向け、一人ひとりの個性を認め合おう、お互いを大切にし、高め合おう



けるようにすることを目指します。また二学期の人権週間では、このスローガンのもとで、友達の良いところだけでなく自分のいいところを見つけ、見つめ直す時間を設けます。たくさんいいところを見つける中で、友達の良いところ、自分のよさを再確認する機会になってくれたらと思います。

人権週間を通して、個性を大切に、互いに高め合うことができる明るい亀小になることを願っています。

『私は、子どもの中でこそ育つ』

教務主任 加藤 達也

私は、今年度から教務主任となり、初めてのこの連続で大変である一方、これまでと違う刺激もあり、楽しく過ごしています。特に実感しているのが、さまざまな学年の子ともたちと関わる機会が増えたことです。休み時間に遊んだり、授業を見に行ったりすることで、多くの児童のがんばりや素数な姿、新たな発見をすることができ、毎日、子どもたちと共に学んでいます。

運動会本番までの練習では、各学年の様子を見ることができました。各学年の子ともたちの真剣な眼差しやはじける笑顔、一体感などが日に日に増していく様子を見ることができ、その変化に感動していました。

日々の学校生活の中では、自分が育てた花の数を生懸命数える児童。箱を使っている児童。おもちやを作ろうか本気で考えている児童。校外学習で講師の方へ、学びに活きる質問を投げかける児童。マツト運動で、新しい技に挑戦する友達に、前向きな言葉をかける児童。自分で考えた遊びに誘ってくれて、ルールを頑張りて説明してくれる児童。一六年生と関われるからこそ、様々な児童の行動や発想に驚かされ、そして教えられています。

亀岡小学校の児童昇降口には、「子どもは、子どもの中でこそ育つ」という言葉が掲げられています。私こそ子どもたちの中で育っているなど日々感じています。